



# 萌木 8月号

～自尊・立志・感動～



調布市立第七中学校

校長 小坂 力

令和2年8月7日発行

## 「無いもの」を嘆くのではなく、「あるもの」を数えていくこと

これまで日本の学校教育が経験したことのない状況の中で、今学期がスタートしました。

振り返ってみると、昨年度の3月から今年度の5月まで臨時休校が続き、子供たちは様々な思いをもちながら過ごしてきたかと思います。6月から2週間分散登校という形で学校がようやくスタートできたことは、本当に嬉しい気持ちになりました。その後徐々に通常の学校生活へ移行していき、約2ヶ月間教育課程を実施し何とか1学期を終えることができました。この間、保護者の皆様、関係者の皆様の御理解・御協力について、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

本来であれば、1学期に実施できたはずの体育祭などが実施できず、2学期予定していた職場体験、修学旅行は中止、合唱コンクールは延期予定と様々な学校行事ができないことについて、残念であり申し訳なく思っています。

ただ、時間は過ぎ去りますし、子供たちの学びを止めることはできません。まだまだ、新型コロナウイルス感染症予防対策は今後も続くことが予想されます。その中で、私たち大人ができることについては、最大限行ってまいりたいと考えております。

さて、工事により体育館が使用できないため、終業式は熱中症・感染症予防対策を講じて教室での動画で行いました。下記のような話をして今学期を締めくくることができました。

おはようございます。

1学期を振り返ってみると、4月5月と休校が続き、6月の分散登校や様々な制限の中で、みなさん本当によく頑張ったと思います。不安な思いや疲れもあったかと思います。それを乗り越えよく学習や運動に取り組んだ学期でした。

今学期をとおして、一人ひとり必ず成長しています。ぜひ、何が成長したかを振り返ってほしいと思います。自分に無いものやできなかったことを嘆くのではなく、自分にあるものやできるようになったことを数えて、それを認めてほしいと思います。

16日間という短い夏休みですが、目標をもって有意義に過ごしてください。始業式元気にあいましょう。

人間はどうしても、自分のもっていないもの、成し遂げていないことを考えがちです。しかし、自分にあるもの、自分にできることを認めることは、生きていく上でとても大切なことだと思っています。自分自身のことを教えてくれる人は中々いません。教師はそのヒントを与えられる存在でなければならないと考えています。

短い夏休みですが、感染症・熱中症予防に十分に気を付けて、新たな気持ちで2学期を迎えてほしいと願っています。今後とも本校の教育活動について、御理解・御協力のほどよろしく申し上げます。



## 離任式を行いました。

7月17日（金）にコロナウイルスによる感染症対策のため延期していた離任式をおこないました。今年度に離任された方々のうち、当日は服部隆先生、中田彩乃先生、高橋理子先生、栄養士の江波佳世子さんにお越しいただきました。当日は校庭で式を行う予定でしたが、雨のため放送での挨拶となりました。4人の方から七中での思い出や七中生への期待の言葉をいただきました。

中田先生からは、「このような世の中、ネガティブな言葉を口にしがちですが、ポジティブな言葉を口にして前向きに生活しましょう。」

高橋先生からは「ありがとうという言葉やごめんなさいという言葉が素直に相手に伝わる人になってください。」

江波さんからは、「七中の生徒はとても穏やかな生徒でした。給食をしっかり食べ、心も体も健康になってください。」

服部先生からは、「変わろうとする思い、変わろうとする覚悟、そして一步踏み出す勇気が大切です。一人一人が大きな志や目標をもち、頑張ってください。」

その後、2、3年生のクラスを1つずつ回っていただきました。放課後には、部活動や委員会の生徒による離任の会を行い、その場で生徒代表の言葉がありました。

離任された先生方、このような状況の中、ご来校いただきありがとうございます。新しい学校でも生徒のために頑張ってください。



## 理学療養士、板倉先生による体育の授業を行いました。

8月3日（月）から8月5日（水）の保健体育の授業で、日本女子体育大学健康管理センターの板倉尚子先生を講師として呼び、「セルフチェックストレッチ・正しい姿勢を知ろう」をテーマに講習を行いました。

板倉先生は、ユニバーシアード競技大会本部メディカルスタッフや日本オリンピック委員会情報・医・科学専門委員会などに携わり、日本理学療法士学会のスポーツ局で活躍されています。その他にも、水石先生（杏林大学附属病院）、渡邊先生（浮間中央病院）、斎藤先生（大橋病院）、西條先生（三宿病院）の理学療法士の先生方にも協力をいただきました。

今回の授業では、全クラスの授業を受け持っていただきました。授業では、①自分の姿勢やいろんな姿勢を知る。②相手のポーズを真似てみよう。③相手の動きに合わせて動いてみよう。などの内容で行い、最初と最後に自分のからだの変化を体験しました。

生徒は、暑いながらも楽しく授業を行い、姿勢次第でからだの動きや可動範囲に大きな影響があることを知ることができました。

